



2020年11月25日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

- 開催状況
- 開催日時 2020年11月25日14:00~14:25
- 開催方法 オンラインによる実開催
- 説明会資料名 株式会社トランスジェニック 2021年3月期第2四半期決算説明会資料

【添付資料】

株式会社トランスジェニック 2021年3月期第2四半期決算説明会資料

以上

2021年3月期第2四半期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<https://www.transgenic.co.jp>

2020年11月25日
株式会社トランスジェニック

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I. 2021年3月期第2四半期連結決算概要

II. 2021年3月期連結業績予想

III. 研究開発状況



I . 2021年3月期第2四半期連結決算概要

2021年3月期第2四半期連結決算：ハイライト

- ◆ 売上高については、創薬支援事業は増収であったが、消費低迷によるTGBS事業のEコマースの売上高減少、及び企業の設備投資抑制を受けたTGBS事業「その他」の売上高減少等が影響し、前年同期比9.8%減の4,680百万円となった。
- ◆ 営業利益については、創薬支援事業は黒字転換及びEコマース事業は大幅増益であったが、TGBS事業「その他」の大幅減益が影響し、前年同期比10.3%減の41百万円となった。

単位：百万円	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額
売上高	5,191	4,680	▲511
売上原価	4,369	3,758	▲611
売上総利益	822	922	99
販管費	776	881	104
営業利益	45	41	▲4
経常利益	14	30	15
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲41	25	67

売上高推移

(百万円)

6,000

5,000

4,000

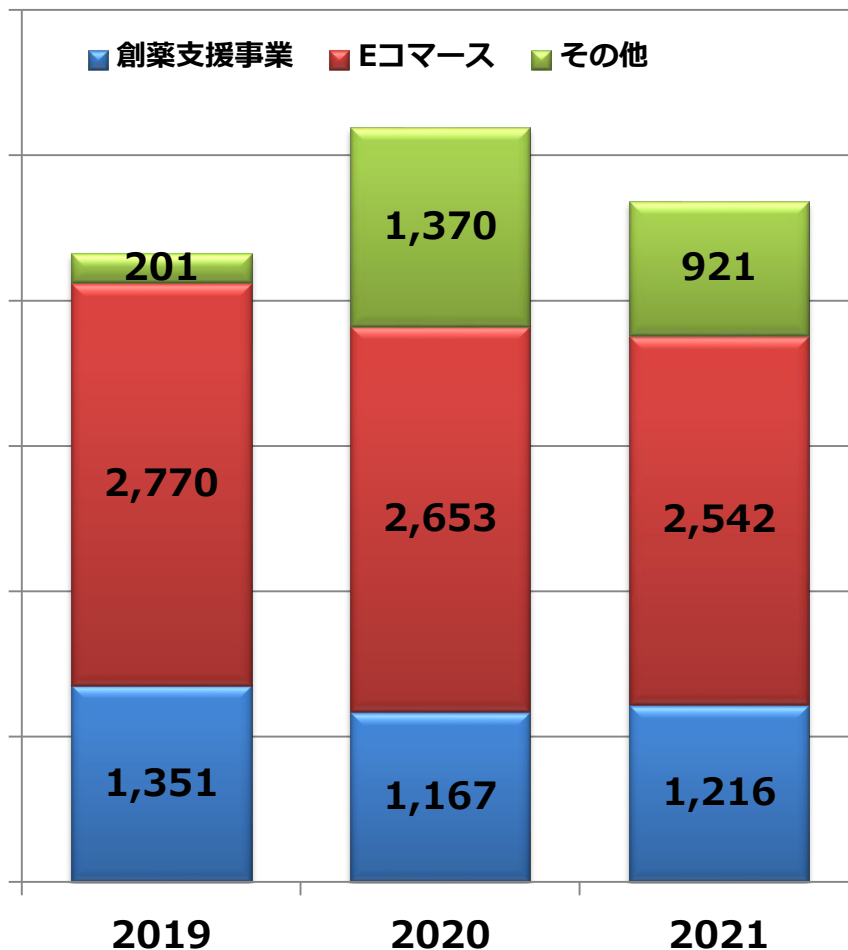
3,000

2,000

1,000

0

■ 創薬支援事業 ■ Eコマース ■ その他



連結売上高は
前年同期比9.8%減の
4,680百万円

・ 創薬支援事業は非臨床試験及び臨床試験売上は苦戦したが、PCR検査受託が増加し前年同期比4.2%増の1,216百万円

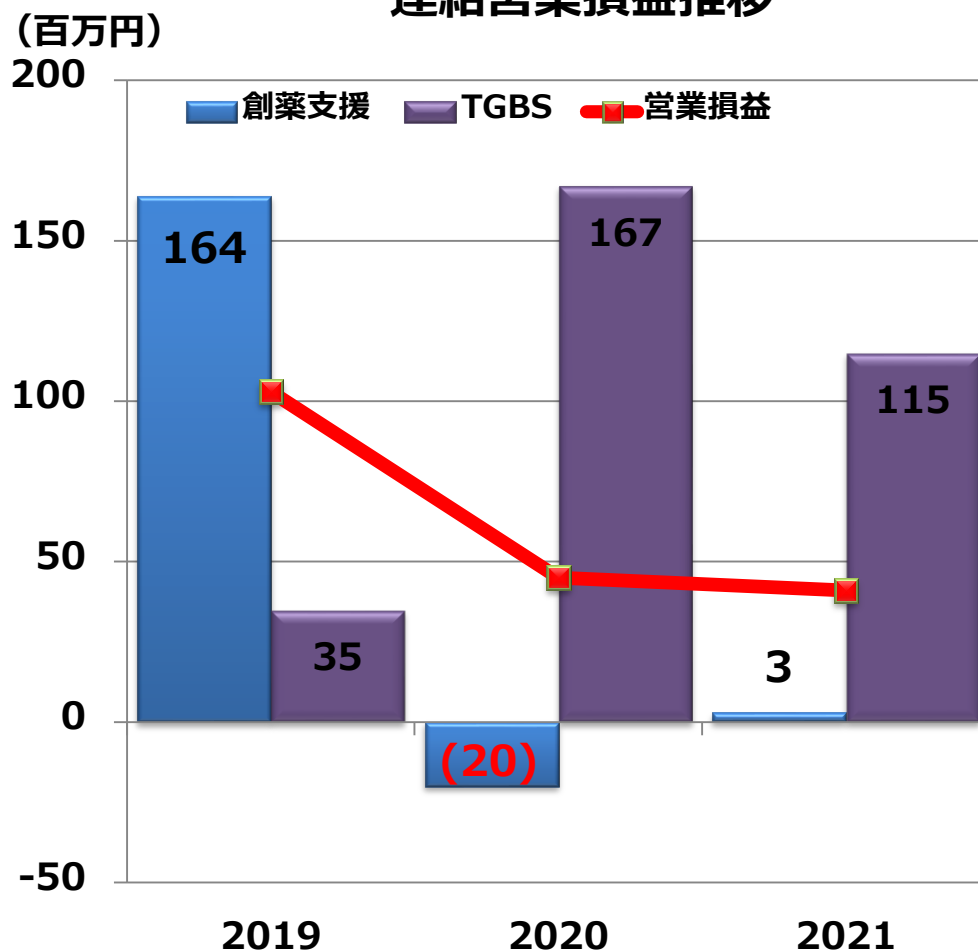
・ Eコマース事業は消費低迷による(株)アウトレットプラザの売上減少により前年同期比4.2%減の2,542百万円

・ その他事業は企業の設備投資抑制を受けた(株)TGMの売上減少により前年同期比32.8%減の921百万円

※当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更し、従来の「CRO事業」を「診断解析事業」と統合し、「創薬支援事業」として報告しております。

※各セグメント売上高については、セグメント間の内部売上高を消去しております。

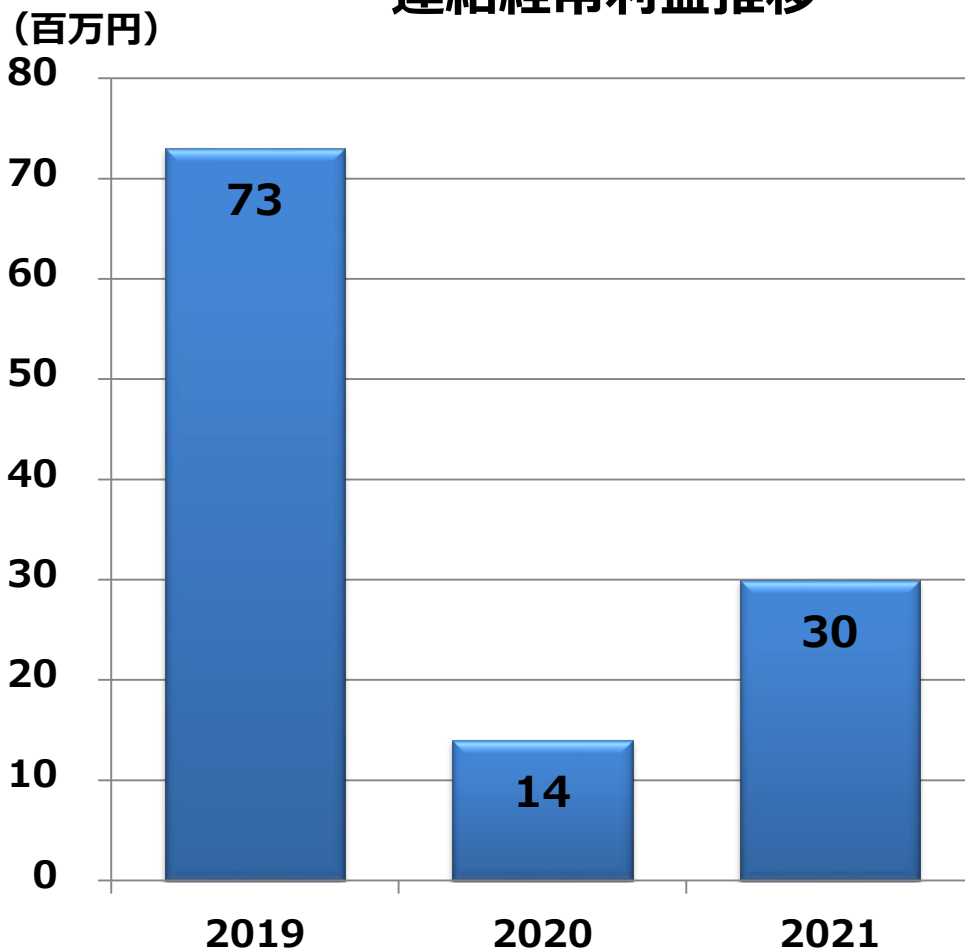
連結営業損益推移



連結営業利益は前年同期比10.3%減の41百万円

- ・創薬支援事業は非臨床試験及び臨床試験が苦戦したが、PCR検査受託が増加し前年同期比23百万円増益の3百万円
- ・TGBS事業はEコマース事業における子会社の増加及び粗利改善により前年同期比332.2%増の109百万円であったが、その他事業の売上減少が影響し、全体では前年同期比31.1%減の115百万円

連結経常利益推移

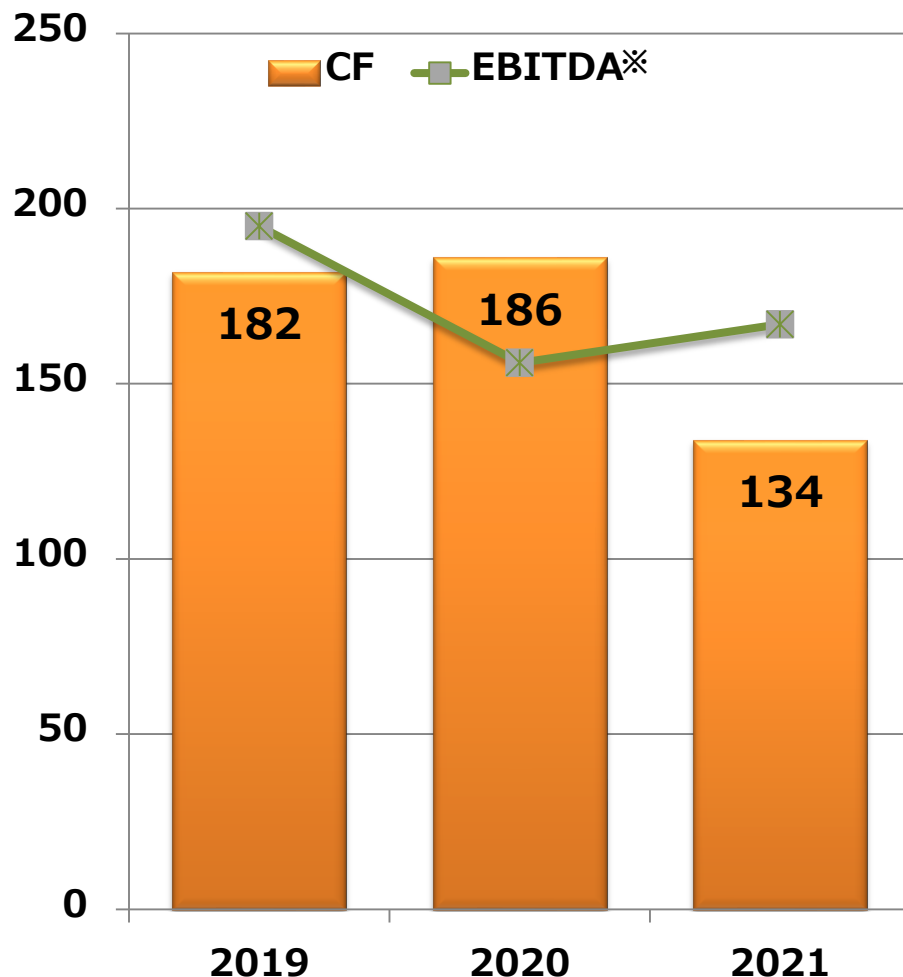


連結経常利益は前年同期比102.9%増の30百万円

- ・ 営業利益は減益であったが、買収関連費用の減少及び持分法適用関連会社であった医化学創薬(株)の連結子会社化に伴い持分法損失（前年同期11百万円）がなくなったこと等により、連結経常利益は前年同期比102.9%の増益

連結営業CF推移

(百万円)



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

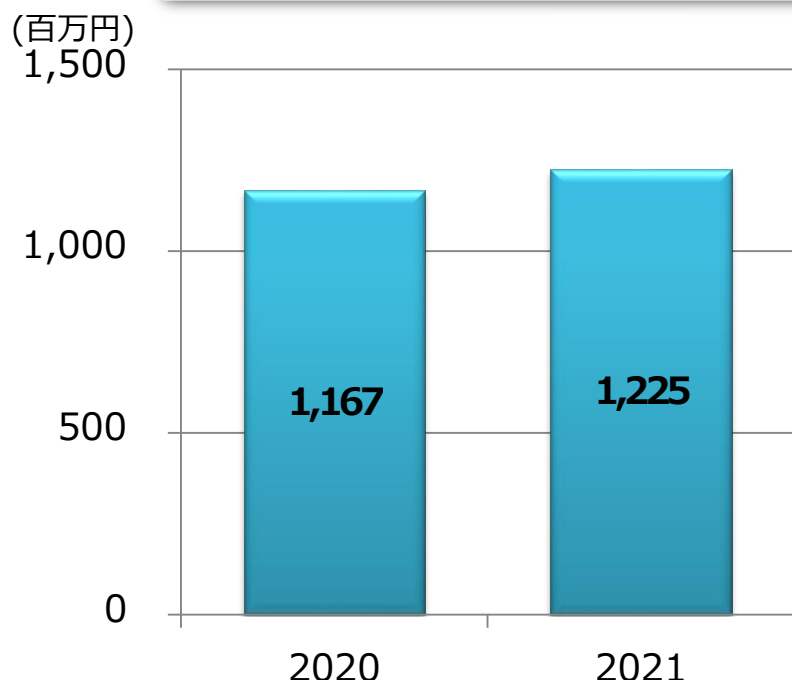
連結営業キャッシュ・フローは、前年同期比51百万円減の134百万円

・ EBITDAは167百万円と安定的に推移

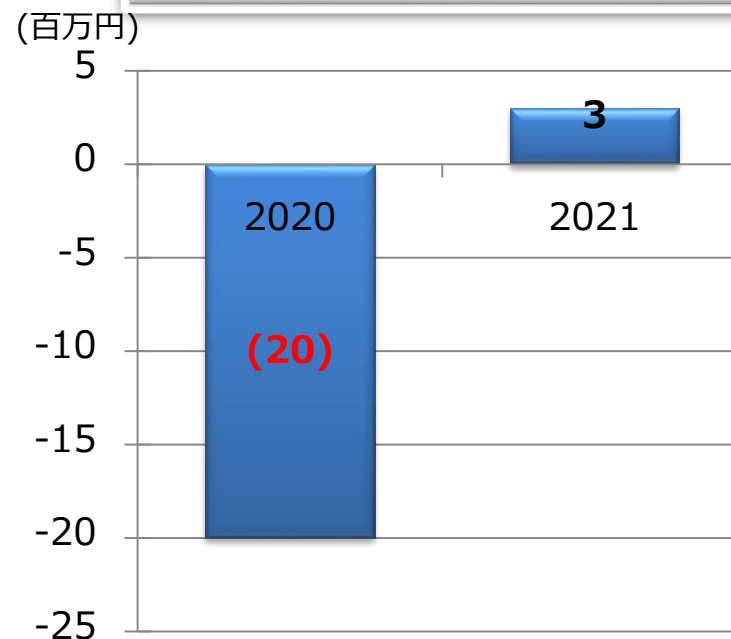
創薬支援事業

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、第1四半期は非臨床試験・臨床試験の試験延期等で苦戦。ただし、第2四半期以降においては徐々に回復傾向
- PCR検査受託が第2四半期以降増加し創薬支援事業売上高全体では増収、営業利益についても前年同期比23百万円増益の3百万の黒字転換

第2四半期売上高



第2四半期営業利益



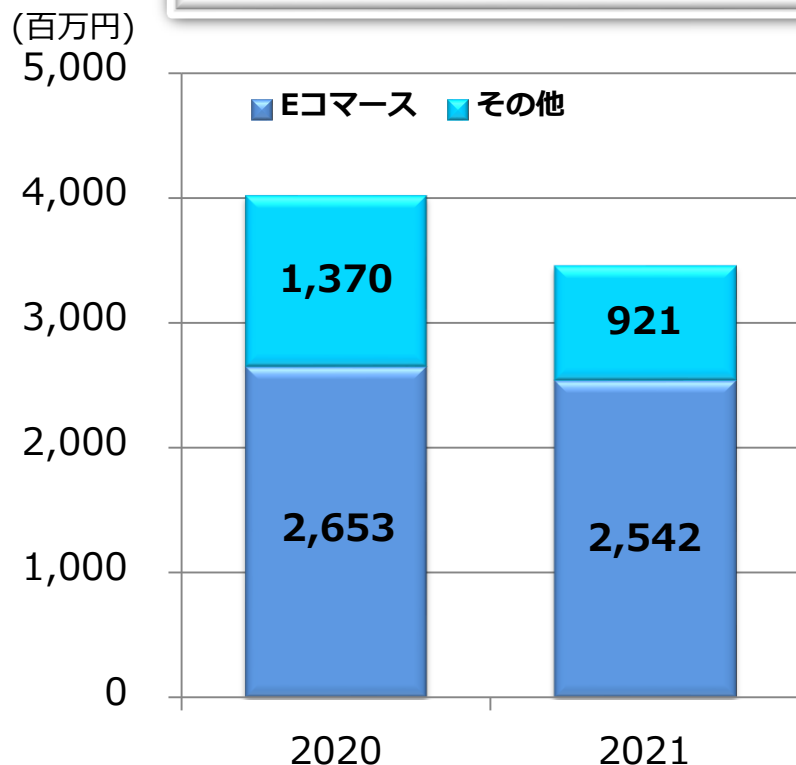
※当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更し、従来の「CRO事業」を「診断解析事業」と統合し、「創薬支援事業」として報告しております。

セグメント別業績概要：TGBS事業

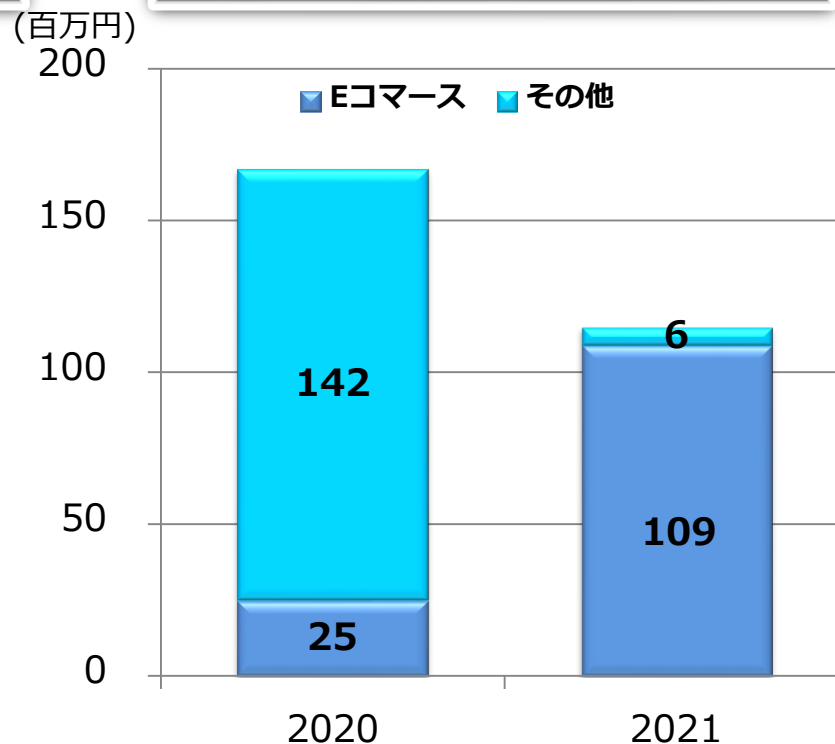
TGBS事業

- Eコマース事業においては、消費低迷の影響を受け(株)アウトレットプラザの売上高が減少したが、ギャラックス貿易(株)の加入及び粗利の改善により営業利益は前年比332.2%増の大幅増益
- その他事業においては、景気低迷による企業の設備投資抑制を受け(株)TGMの機械販売が減少し、売上高については前年同期比32.8%減の減収、営業利益についても前年同期比95.6%減の減益

第2四半期売上高



第2四半期営業利益





Ⅱ. 2021年3月期連結業績予想

2021年3月期 連結業績予想

- 創薬支援事業は4億円強の増収を予想するも、TGBS事業での9億円強の減収予想により、全体では前期比5億円強減収の105億円（前期比▲4.9%）を予想
- 営業損益については利益率が高い創薬支援事業の伸長により前期比276百万円増益の450百万円（前期比159.0%増）を予想

単位：百万円	2021年3月期 (通期予想)	2020年3月期 (実績)	増減	
			百万円	%
売上高	10,500	11,046	▲546	▲4.9%
創薬支援事業	3,200	2,795	404	14.5%
TGBS事業	7,320	8,258	▲938	▲11.4%
(Eコマース)	(5,200)	(5,333)	(▲133)	(▲2.5%)
(その他)	(2,120)	(2,924)	(▲804)	(▲27.5%)
本社・連結調整	▲20	▲7	▲12	—
営業費用	10,050	10,872	▲822	▲7.6%
営業利益	450	173	276	159.0%
経常利益	400	94	305	321.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	▲440	720	—

2021年3月期 連結業績予想：セグメント別

- 創薬支援事業について、新型コロナウイルス感染症拡大を受け第1四半期は非臨床・臨床事業が苦戦を余儀なくされたが、第2四半期以降は徐々に回復傾向にある。このため、下半期は売上・利益の拡大を予想していること、PCR検査受託が第2四半期以降増加傾向を維持していることから、通期売上高及び営業利益については前期比で大幅な増収増益を予想
- TGBS事業について、Eコマースに関しては消費低迷の影響を受けるもクリスマス商戦需要等もあり下半期も堅調な推移を予想。一方、その他事業に関しては上半期に比して一定の回復は見込まれるものの引き続き景気低迷の影響を受けるものと想定し前期比で大幅な減収減益を予想

(セグメント別の上半期実績と下半期予想)

	2021年3月期 第1四半期 (実績)		2021年3月期 第2四半期 (実績)		2021年3月期 (下半期予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
創薬支援事業	452	▲91	773	94	1,974	396
TGBS事業	1,759	74	1,704	41	3,855	84
(Eコマース)	(1,325)	(67)	(1,217)	(41)	(2,657)	(60)
(その他)	(434)	(6)	(487)	(0)	(1,198)	(23)
本社・連結調整	▲4	▲35	▲4	▲42	▲10	▲72
合計	2,207	▲53	2,473	94	5,819	408



Ⅲ.研究開発状況

モデルマウスの導入・開発状況

モデルマウス系統及び新規技術の開発
 ※自社または外部研究機関からの導入開発



病態可視化マウス

小胞体ストレス可視化マウス	理研	約2年	約2年	個体販売中
酸化ストレス可視化マウス	群馬大			個体販売中
炎症可視化マウス	群馬大		日本・欧州特許査定	個体販売中
生体ストレス可視化マウス	金沢医科大学			個体販売中

中枢神経系モデルマウス

アルツハイマー病モデルマウス	大阪市立大			受託サービス実施中
認知症モデルマウス	(有)行動医科研			受託サービス実施中
BDNF (脳由来神経栄養因子) 遺伝子改変マウス	産総研			受託サービス実施中 個体販売準備中

メタボリックシンドローム系モデルマウス

NASHモデルマウス	東大			受託サービス実施中
肥満抑制モデルマウス	TG社			個体販売中

Overview of Research & Development Pipeline
モデルマウスの導入・開発状況

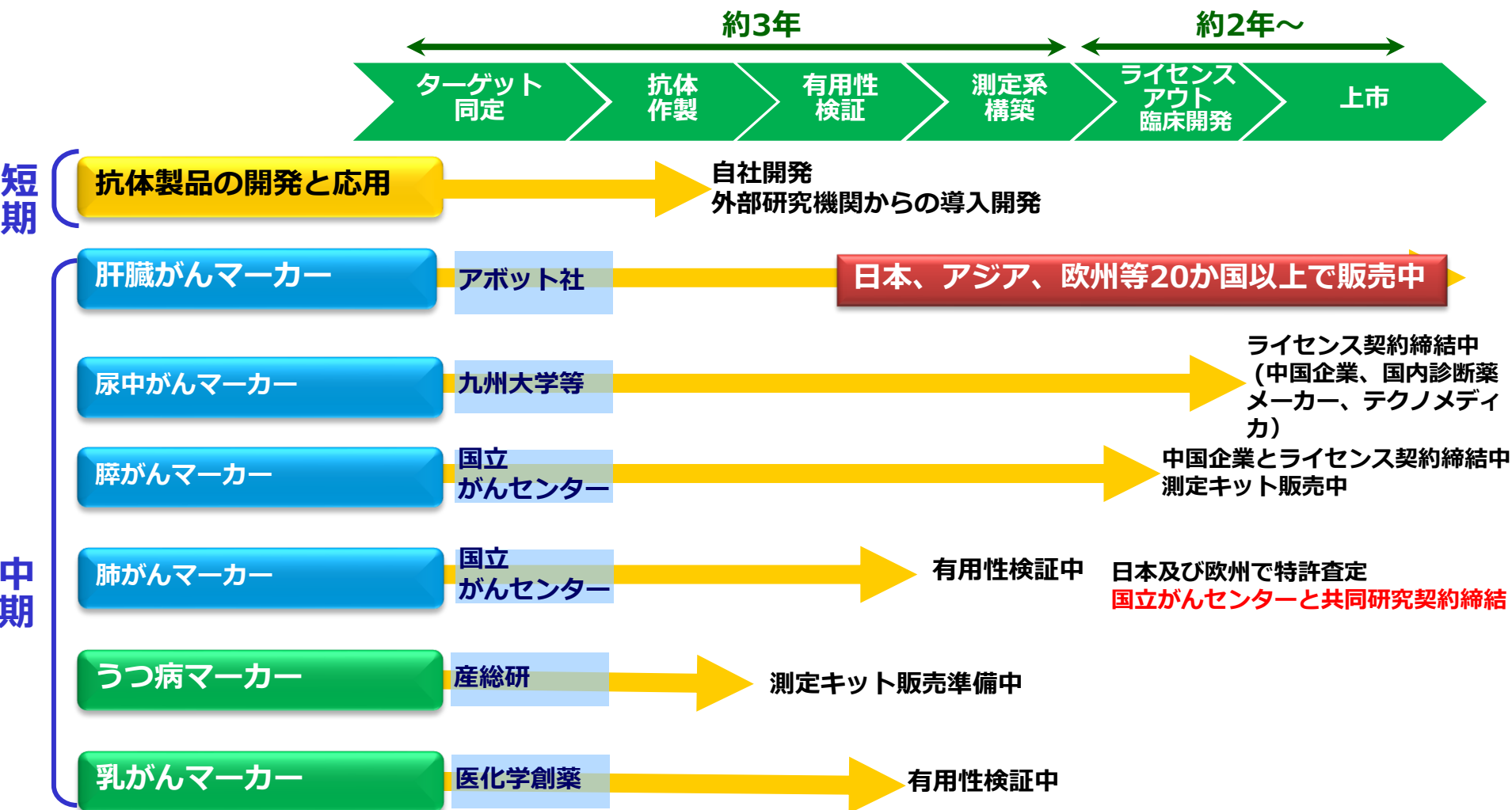
モデルマウス系統及び新規技術の開発
 ※自社または外部研究機関からの導入開発



モデルマウス系統	開発元	開発状況
ヒト化マウス	肝臓ヒト化マウス	熊本大・TG社 → 技術移転実施中
	エクソンヒト化マウス	TG社 → 国際特許出願
	ACE2ヒト化マウス (COVID-19研究用)	TG社 →
疾患モデル	夜型モデルマウス	産総研 → 個体販売中
	アトピー性皮膚炎モデルマウス	兵庫医科大 三重大 → 受託サービス実施中 個体販売中
突然変異検出マウス	Mutaマウス	(株)日本医科学動物資材研究所 → 受託サービス実施中※ (遺伝毒性試験)
がん移植用マウス	変異GFP, 変異Lucマウス	京大 → 個体販売中
マーカーマウス	赤色蛍光タンパク質発現マウス	TG → 個体販売中

※(株)安評センター

開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬





～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<https://www.transgenic.co.jp>